

 公益財団法人
どうぶつ基金

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL:0797-57-1215
FAX:0797-25-2075

contact@doubutukikin.or.jp

www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金

検索




一人でも多くの人に知ってもらいたいから、
この資料を読み終えたら他の人に渡してあげてください。

2014

活動報告書

doubutukikin activity report

2014/4/1 - 2015/3/31

 公益財団法人
どうぶつ基金



殺処分ゼロが見えてきた。

お礼とご報告

100万頭から12万頭へ

どうぶつ基金が生まれた1988年当時の日本では、70万頭の犬と30万頭の猫、合計約100万頭の犬や猫が殺処分されていました。どうぶつ基金では、そんな状況を改善して、人と犬や猫が殺処分なく幸せに共生できる世の中に変えるために、こつこつと見捨てられた犬や猫の保護と里親探しを行い、ねこの不妊手術(さくらねこTNR)を全国各地でおこなってきました。あれから27年、平成25年度の殺処分数は、12万8,174頭にまで減少しました。なかなか減らなかった猫の殺処分数は9万9,604頭となり、ついに10万頭を切りました。どうぶつ基金では発足当初から「行政による犬や猫の殺処分ゼロ」の実現をめざしてきました。当時は夢物語と笑われてきましたが、今では政府も「2020年オリンピックまでに殺処分ゼロ実現」を視野にプランを挙げています。

皆様の温かいご支援のおかげで平成26年度は8,262頭の不妊手術を行うことができました。また世界自然遺産登録を目指す鹿児島県徳之島では絶滅危機にあるアマミノクロウサギを猫が捕食している事が発覚、どうぶつ基金では徳之島に住む推定3,000頭の猫すべてに不妊手術を施してウサギも猫も殺さずに生物多様性をまもる共生プラン「徳之島ごさくらねこTNRプロジェクト」を立ち上げ獣医師団を派遣、すでに1,429頭の不妊手術を終えたさくらねこがうまれました。共に歩んで下さるボランティアや獣医師の皆様、ご支援をいただく皆様、内閣府、環境省をはじめとする各行政の皆様にご心よりお礼申し上げます。

公益財団法人どうぶつ基金 理事長
KUNIHISA SAGAMI

佐上邦久



平成26年度は **8,262** 頭の さくらねこ無料不妊手術を行いました。

殺処分ゼロを実現する

平成25年度に全国で殺処分された猫は、9万9604頭です。とても大きい数ですが、データを細かくみていくと、殺処分のうち74%が離乳前の子猫だという現実が浮かび上がってきます。

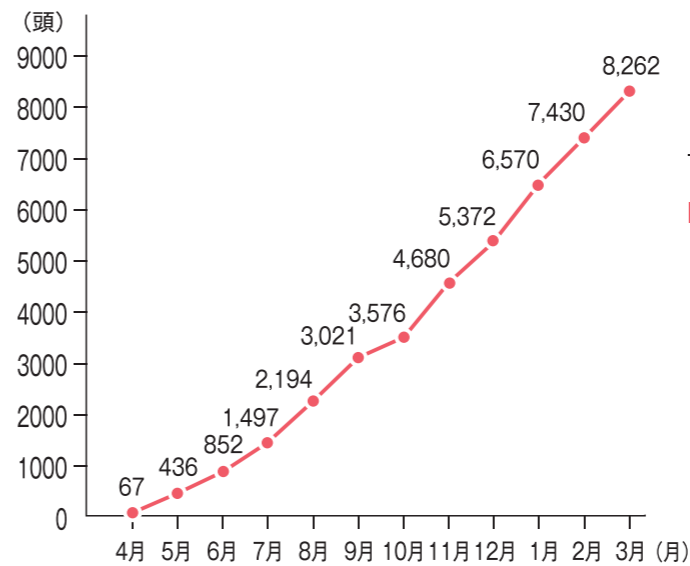
つまり、不妊手術を行うことで、防ぐことができる殺処分が74%もあるのです。

この事実から、どうぶつ基金では、より多くの飼い主のいない猫にTNRを行うことが、殺処分ゼロへの道であると考え「さくらねこ無料不妊手術事業」を全国の協働ボランティアと実施しました。

平成26年度は全国で8,262頭の不妊手術を実施することができました。殺処分に先手を打つ、予防的活動がどうぶつ基金のビジョンです。



■ 平成26年度さくらねこ無料不妊手術事業TNR数累計



voice

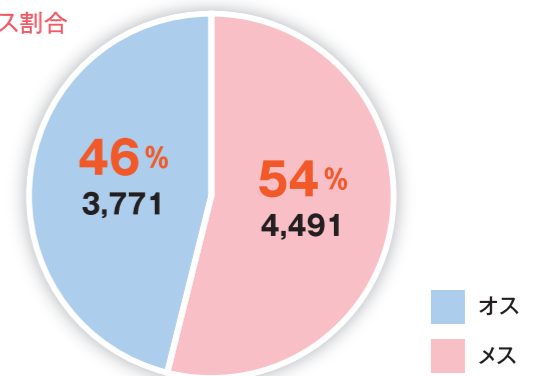
行政と「どうぶつ基金」の協働



三重県伊賀保健所
千田 明郎

三重県伊賀保健所の動物愛護管理事業の課題は、野良猫の糞尿・鳴き声に関する苦情・相談対応となかなか減少しない猫の殺処分数です。この2つの問題を解決するのが「地域猫」や「TNR活動」ですが、地元の同意を得ることや不妊・去勢手術の費用負担といった問題が立ちはだかりました。そのような時に三重県名張市のボランティアの方から「どうぶつ基金」を紹介していただき、地元等の関係者と1年以上調整を行った結果、昨年10月に伊賀市内の公民館で出張手術の支援をさせていただきました。どうぶつ基金のほか、ボランティアや地元の方などにご協力いただき、大きな問題もなく無事出張手術を終えることができました。この紙面をお借りして関係者の皆様の支援に感謝申し上げます。さて、この昨年出張手術を経験して、この取組は行政だけでは困難であり様々な主体との連携が必要なこと、野良猫に関する感情的な対立が生じる前に問題を解決する必要性を感じました。そのため、「地域猫」や「TNR活動」をより多くの方に知っていただくため、現在は地元の情報誌と連携しながら、啓発活動を充実させる取組を行っています。

■ オスメス割合



どうぶつ基金が推進する

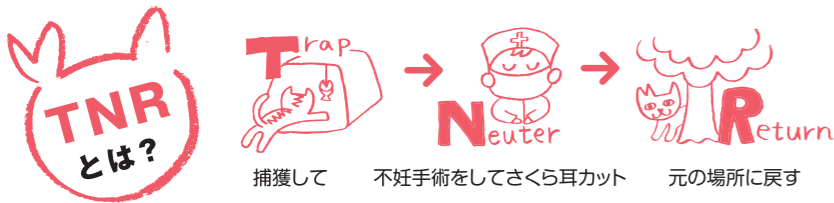
さくらねこ TNR とは

- 即行** ▶ **スグやる**
猫は一度の出産で5~7匹の子猫を産み1年に3回出産することができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っているのは、猫の繁殖スピードに追い付けません。
- 徹底** ▶ **全部やる**
90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。
- 継続** ▶ **続ける**
100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新参者が見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば、殺処分ゼロ、苦情ゼロは実現可能です。

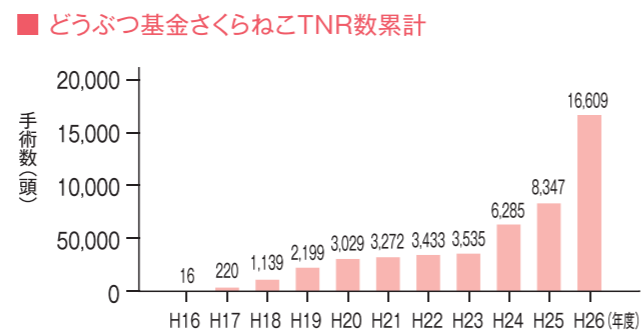
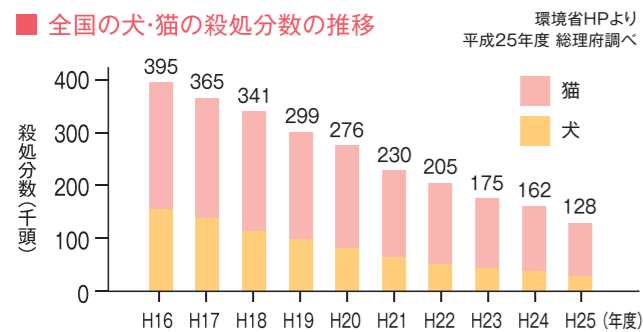
さくらねこTNR (TNR先行型地域猫活動)

どうぶつ基金は、1988年に設立されて以来、人とどうぶつが幸せに共生できる社会づくりに貢献してきました。その中で、平成17年度から動物愛護事業の基軸として行っている「さくらねこ無料不妊手術事業」は「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR (Trap/捕獲し、Neuter/不妊手術を行い、Return/元の場所に戻す、その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする)」を実施することで、繁殖を防止し、「地域の猫」「さくらねこ

として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関わる苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。どうぶつ基金では、従来型の地域猫活動では話し合いをしている間に猫の頭数が倍増してしまい、当初の予算では実施できなくなってしまうケースや、公園や大学など、いわゆる地域が無いケースが多々あることを鑑み、「さくらねこTNR (TNR先行型地域猫活動)」の推進を行い、広義の地域猫活動等の活動支援を行っています。



TNRは、トラップ (捕獲して) ニュート (不妊手術してさくら耳カット) リターン (元の場所に戻す) の略。どうぶつ基金では、TNR数千頭の実績を持つ獣医さんや専門スタッフが、ご相談を受け付けています。



voice

殺処分ゼロを実現します

公益財団法人 どうぶつ基金
プロジェクトリーダー
小池 英梨子



新しくどうぶつ基金のスタッフになりました。小池英梨子と申します。平成26年度までは大学院でTNRや地域猫活動の実践と研究を行っていました。私が所属していた研究科は、応用人間科学研究科対人援助学領域という所でした。対人援助学で猫のことを研究できるの?とよく聞かれましたが、動物の問題と人の問題はとても密接で、動物の問題を通して社会の問題が見えてきます。これからは、どうぶつ基金のスタッフとして、動物問題を改善する活動を通して、社会の心を豊かにしていくことに貢献していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

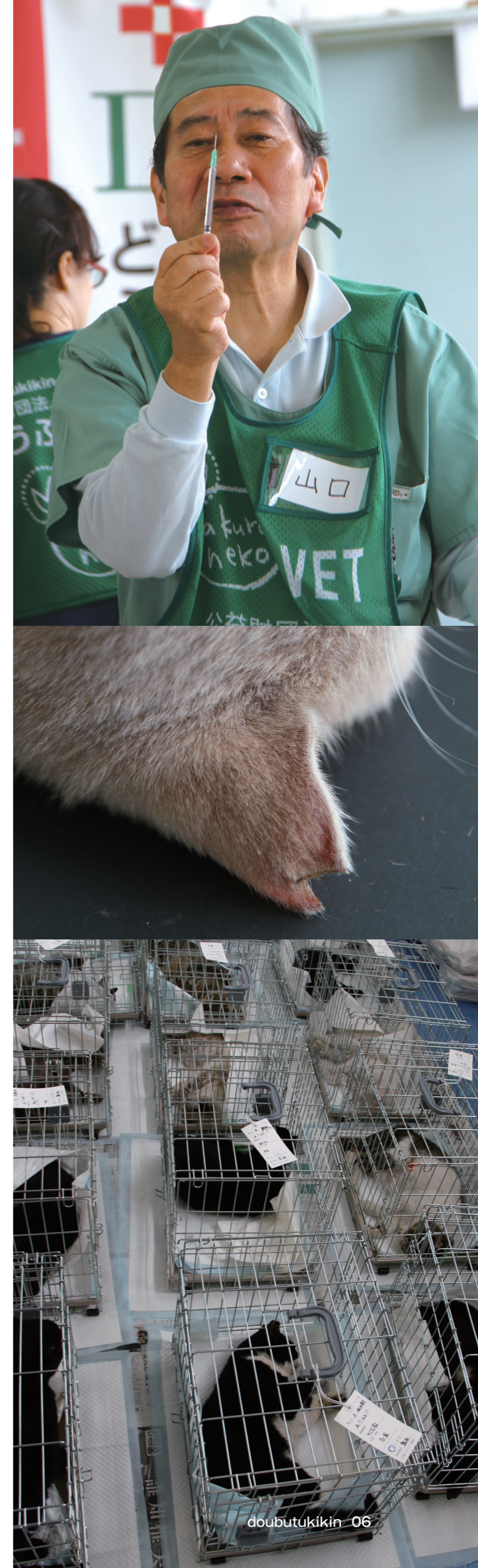
現場からの声

- voice** 地域住民・行政関係者は半信半疑だったようでしたが、実際にTNR活動を行い、効果を実感できたことで、その方法・有効性を啓発する機会となりました。
青森県 Aさん
- voice** 手術をしたさくらねこは、性格が穏やかになり、地域住民の皆様が可愛がってくれるようになった。その結果、痩せて衛生状態の悪いのら猫たちが減り、地域環境も良くなりました。
東京都 Nさん
- voice** さくらねこTNRを実施した地域住民の皆様からは、「のら猫が減った。」「のら猫の声がしなくなって町が静かになった。」「のら猫たちが穏やかになった。」など感謝の声を聞いております。
大阪 Yさん

どうぶつ基金が行う様々な支援活動

? TNRの活動をどうやって子どもに伝えたらいいか迷ったことはありませんか?

どうぶつ基金では、とてもわかりやすいパンフレットやポスターを無料配布しています。ホームページからお申し込み下さい。
www.doubutukikin.or.jp





TNR
tokunoshima

徳之島ではアマミノクロウサギとさくらねことヒトが、
一緒に暮らすことにしました。



「1000万年続いたアマミノクロウサギ絶滅の危機は、私たちが救った」と
後世に胸を張って自慢できるように
ここはひとつ、みんなでがんばることにしました。

どうぶつ基金と徳之島の仲間たちより

**26年度は2回の一斉TNRを実施し、
1,178頭の猫に不妊手術を施しました。**

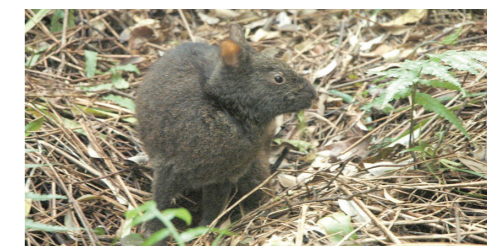
徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト生物多様性まもって世界自然遺産に登録しよう

主催：公益財団法人どうぶつ基金 共催：天城町、伊仙町、徳之島町 協力：NPO法人徳之島虹の会、徳之島ねこ部、徳之島自然保護推進協議会



ねこはアマミノクロウサギのために手術を受けました

アマミノクロウサギは、いまや地球上で奄美大島にわずか4,000頭、徳之島にはたった200頭だけしかいなくなってしまい環境省も絶滅を危惧する生き化石と呼ばれる珍獣です。そんな中、島に住む猫がアマミノクロウサギを食べていることがわかりました。もともと島には人も猫も住んでいませんでしたが、島に移り住んだ人たちが、いつの日か猫もつれて来ました。不妊手術もせずに放し飼いをして増えてしまった飼猫はやがてノラ猫になって森に入り、クロウサギを食べるようになってしまったのです。わかっているクロウサギの死因の約90%は交通事故で犬や猫に食べられたことによる死亡は10%ほどですが、いずれにしてもこのままでは私たち人間のせいで地球上からアマミノクロウサギがいなくなってしまう。「1000万年続いたアマミノクロウサギを私たちの世代が滅ぼしてしまった」なんて、申し訳ないではすまされません。かといって少なくなったクロウサギの命を守るために増えすぎた猫を殺すなんて残酷なことは心やさしい島の人たちにはとてもできません。そこで島の人たちとどうぶつ基金が相談した結果、クロウサギの森に住む猫をつかまえて引っ越しをさせてみんなで飼おう、ということになりました。まず島に住む猫に不妊手術をして、もうこれ以上猫が



アマミノクロウサギ 写真提供：環境省奄美自然保護官事務所

増えないようにします。徳之島だけでも3,000頭の猫が暮らしています。すべての猫に不妊手術をするためには、どの猫に手術が済んでいるのか見分けなければなりません。そこで少しかわいそうなのですが不妊手術の麻酔で痛くない間に、猫の耳をV字にカットして手術が済んだしるしにします。このかたちが桜の花びらに似ていることからさくら耳、手術が済んだ猫は、桜のようにみんなから愛されてほしいという想いを込めて、「さくらねこ」と呼びます。こうして、島では、みんなで、アマミノクロウサギとさくらねこ、どちらも殺さずに一緒に暮らせるしくみを作っていきます。猫による絶滅危惧動物の捕食は世界各地で起こっている問題です。島の猫3,000頭全部に一齐TNRを行う徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクトは世界初の取組みとして京都大学で開かれた日本哺乳類学会でも発表されました。世界中が注目し期待されています。



獣医として出来ること

獣医師
平野 亜矢子



私はどうぶつ基金の協力病院に勤務していたことをきっかけに徳之島の活動を知り、参加させて頂きました。私は元々愛護精神が強いわけではなく、どちらかというと敬遠する気持ちを持っている人間でした。5年前程、犬猫の保護施設を訪問し、考えが変わりました。保護活動は偽善でできることではなく、本当に犬猫を取り巻く社会には問題点が多く真剣に取り組む必要があると感じました。現在、希少種の保護のためには捕食者である生物は排除(殺処分)が世界的なスタンダードとされています。徳之島では殺処分に頼らない方法での希少種保護実現を目指し、世界的なスタンダードを変えたいと思っています。徳之島のプロジェクトは徳之島の行政、自然保護団体、島民、どうぶつ基金、協力獣医師や協力ボランティアなど、多くの人間が関わっています。各々が自分出来ることを行い、同じ目的のために活動するということとはとてもやりがいのあることです。殺処分問題など動物を取り巻く社会的な問題は暗い辛い話が多いです。しかし、どうぶつ基金では真面目に、かつ楽しく心を掛けて活動を行っています。活動に興味がある、出張手術に興味がある、などきっかけは人それぞれでいいと思います。ぜひ参加して頂き、感じたことを今後の動物社会の発展のために活かして頂けたらと思います。ご協力お待ちしております。



世界遺産登録に向けて

伊仙町環境課
美延 治郷



平成26年度に合計2回のTNR事業で約1,178頭の猫の避妊・去勢を行った。ここは、鹿児島から南に約480kmの小さな島。しかし約1000万年前からの先住動物「アマミノクロウサギ」や「トクノシマトゲネズミ」など、世界でここにしか生息していない動物や昆虫・植物など、多くの絶滅危惧動植物が島民と共生している。近年、開発が進み先住の動物や植物の生息域が狭くなってきている。この人間による生活域の拡大に伴い、ノラ猫や野犬の被害が深刻になってきた。世界自然遺産の候補地となっている奄美・琉球地域の中の「徳之島」という小さな島の大きな脅威として、その存在が大きくなってきた。そのような中で猫の脅威に対応する術(すべ)について、約3年前から関係機関において議論を尽くしてきた。しかし、これという有効な策がないまま、終始議論だけの問答に嫌気がさしてきたところに、どうぶつ基金という団体の情報を得た。早速連絡をとり、趣旨を理解していただくとともにその緊急性に共感していただき、対応していただいた。これまでに多くの処置数を上げることができ、すでにその効果が確認できるほどの状況になってきた。奄美・琉球の世界自然遺産登録に向け、更なる脅威の回避に努めるとともに、子や孫にこの豊かな自然を受継ぎ、猫も犬も人間も住みよい世界自然遺産の島でありたい。

アマミノクロウサギも猫も殺さないですむ
さくらねこTNR(ティエヌアール)にしよう。



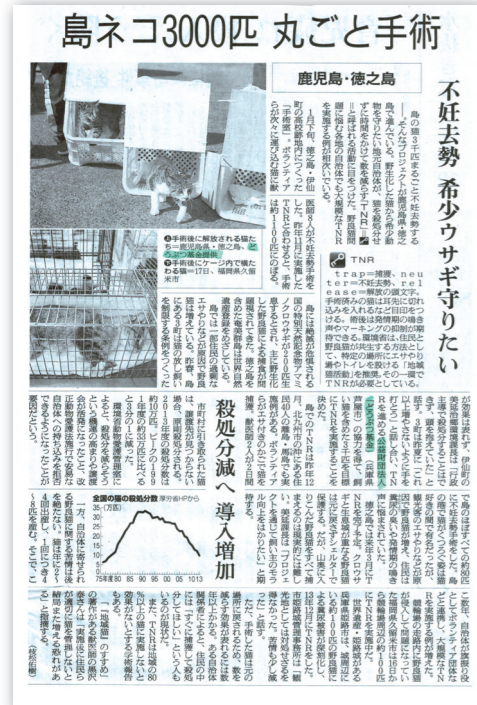
新聞に掲載されました。



2014年1月27日 奄美新聞
「クロウサギ・猫・ヒト共生を」徳之島ごとさくらねこTNR事業



2015年3月3日 産経新聞
「市民団体と町会が連携」十三地域での一斉TNR



2014年2月18日 朝日新聞
「島ネコ3000匹 丸ごと手術」徳之島ごとさくらねこTNR事業



2014年12月27日 読売新聞
「島の猫共存の道」馬島での一斉TNR



RBC琉球放送の取材(沖縄県総合運動公園)



KTS鹿児島テレビの取材(徳之島ごとさくらねこTNR事業)

講演会

公益社団法人 三重県獣医師会と三重県が主催する
「平成26年度狂犬病予防及び動物愛護管理研修会」にて
どうぶつ基金理事長佐上が講演を行いました。
講演タイトル:「TNR先行型地域猫活動(さくらねこ)で殺処分ゼロ」



平成26年度は、全国で延べ950グループの協働ボランティアと32の協力病院によって、6,155頭のさくらねこがうまれました

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアさんから申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、平成26年度は6,155頭のさくらねこがうまれました。

協力病院全国
32
箇所

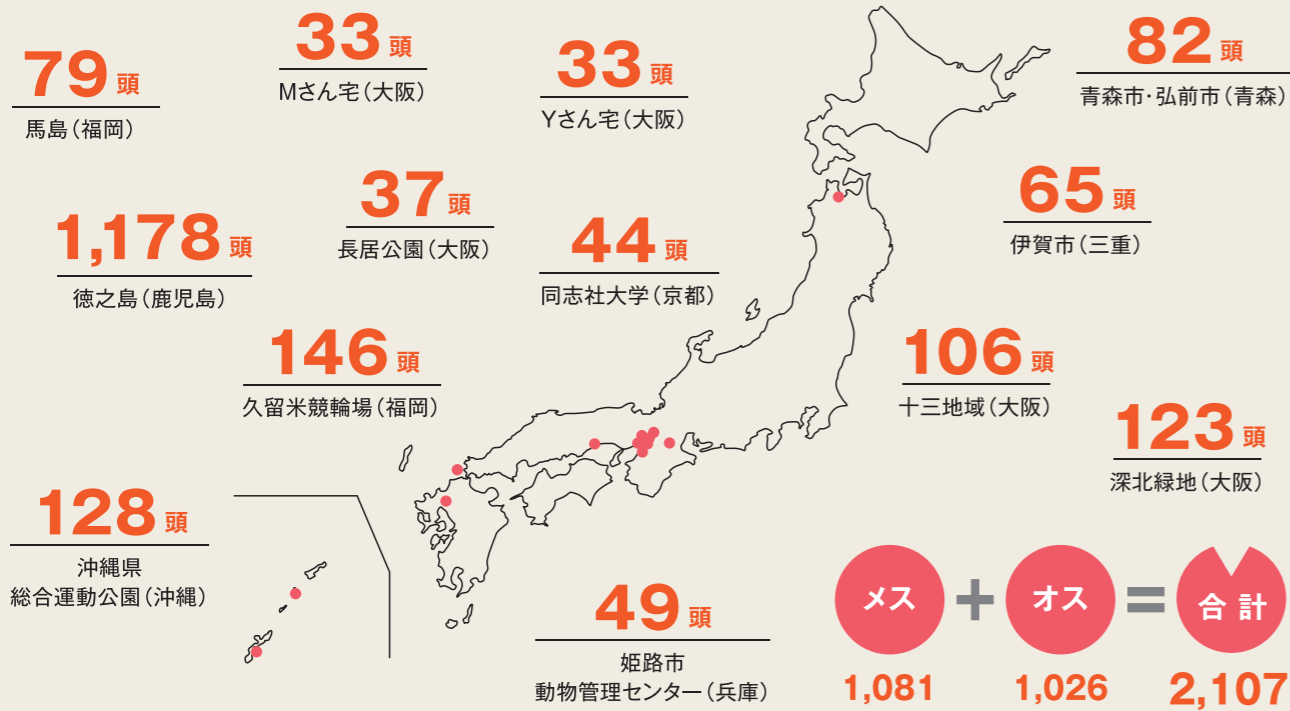


北海道	恵庭市	よつば動物病院
	千歳市	新千歳動物病院
茨城県	土浦市	いながき動物病院
東京都	杉並区	ハナ動物病院
	立川市	おおにし動物病院
	立川市	立川プラスワン動物病院
	町田市	聖マリアンヌ緑山動物病院
	東大和市	湖畔どうぶつ病院
	江戸川区	えどがわ犬猫びょういん
	中野区	mocoどうぶつ病院
	渋谷区	代官山動物病院
	日野市	きもと動物病院
	武蔵野市	三鷹獣医科グループ
	武蔵野市	ひだまり動物病院
神奈川県	川崎市	モモ動物クリニック
	大和市	山口獣医科病院
	横浜市	コトブキ獣医科医院
	横浜市	明和動物愛護病院
埼玉県	上尾市	堀動物病院
	越谷市	いながき動物病院

協力病院での
TNR数
6,155
頭

千葉県	松戸市	ときわだいら動物病院
愛知県	豊川市	ヤマヒロ動物病院
	名古屋市	しっぽ動物病院
	丹波郡	やませどうぶつ病院
	岡崎市	ダイゴペットクリニック岡崎
	豊田市	ダイゴペットクリニック豊田
大阪府	大阪市	一犬猫病院
	大阪市	ありす動物病院
	吹田市	くすのき動物病院
京都府	京都市	ゼロの会 動物病院
奈良県	北葛城郡	はねペットクリニック
広島県	福山市	りっか動物病院





voice

島に平和がもどりました

大切な猫たちプロジェクト in 馬島
竹下 雅美



平成26年12月13～14日に福岡県北九州市の離島・馬島で猫79頭の一斉TNRを終え、TNRは猫好きよりもむしろ猫が嫌いな人にこそメリットがあるのではないかと思います。TNRからまもなく半年、猫たちのオシッコで目も開けられないほど臭かった渡船所待合室のニオイが随分なくなり、島民の方から「ありがとう」とおっしゃっていただくこともあります。また、手術して発情ストレスがなくなった猫たちは、プロレスごっこのようなじゃれ合いはしますが、流血するような激しいケンカはしなくなりました。島民の方によると「春先に気味の悪い鳴き声がなくなった」そうで、以前は生傷が絶えなかったオスの成猫の顔に少しずつカサバタができて、会うたびに顔つきが穏やかになっているのが、とてもうれしいです。現在は、有志が必要量のフードを支援しながら、毎月1～2回ほど島へ通って猫たちの健康チェックや掃除などを行っています。「ぶっつけ本番」のTNRの現場では大変なことたくさんありましたが、道路の真中で「開き」になって昼寝する島猫たちを見ていると、報われる気がします。これからも馬島が「さくらねこ」にとって平和であるように、できることを続けていきたいと思っています。

voice

大学の猫が「さくらねこ」に

Do-Cat (同志社大学猫サークル)
斎藤 温美



同志社大学京田辺校地には、当時50頭以上の猫が確認されていました。そこで、どうぶつ基金に大学当局から一斉TNRの申請をしていただき多くの方々のご協力の元、成猫44頭の手術とワクチンの投与、蚤除去、シラミ除去等を行っていただきました。またこの時、別のご縁もあり12頭の仔猫を保護し、里親に出すことができました。現在、まだ一年も経過していませんが、この一斉TNRをきっかけに公認サークルとなることができました。大学職員からは猫の数が減ってきているようで成果を感じているとの声が上がっています。また、別の職員からは、手術のおかげで以前よりも猫がふっくらしたようで安心した、との声もいただいており、すでにTNR活動の成果が感じられます。もちろん一足飛びにこの問題を解決できるとは思いませんが、今後も継続して活動を行い、少しずつでも前進していけたら、と思います。



平成26年度は、14回の出張手術によって2,107頭のさくらねこがうまれました。

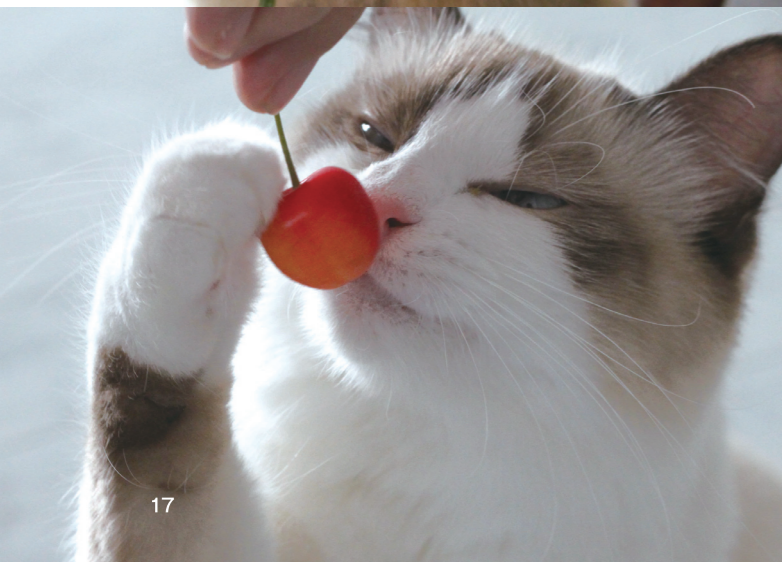
さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアさんから申請を受け、不妊手術のエキスパート獣医師を派遣し出張手術を実施しています。平成26年度は、14回の出張手術によって2,107頭のさくらねこがうまれました。



全国出張手術でのTNR数

2,107 頭





いのちつないだ♥ワンニャン写真コンテスト

買わずに
飼ってね

小さな命を救い、共に生きる。

このコンテストは、犬や猫と幸せに暮らす方法として、
ペット業者から買うのではなく
「保護された動物の里親になる」「地域猫の世話をする」といった、
本当なら殺されていたかもしれない小さな命を救い、
共に生きることの素晴らしさを多くの人に
知ってもらうために開催しています。



はっちゃんも
応援しています。

きみの笑顔に

環境大臣賞受賞作品
東京都 湯原 豊さん
みんなから可愛がられる地域猫、じろちゃんです。



voice

素晴らしい企画に感謝

GREEN DOG
代表 佐久間 敏雅



近年、犬猫の殺処分ゼロへ向けての取り組みが日本中で活発化していますが、「どうぶつ基金」は古くから人間の手で殺されるいのちを少しでも減らそうとTNR先行型地域猫活動や無料不妊手術などの先鞭をつけてこられました。地道に息の長い活動を継続されていることに心から敬意を表します。中でも「いのちつないだワンニャン写真コンテスト」は、動物遺棄や殺処分という暗く重たい問題を、明るく幸せな側面から伝えることで、多くの人の共感を生んでいる素晴らしい企画だと思います。そのような素晴らしい企画に関わらせて頂いていることに感謝申し上げます。これからも動物たちのために「どうぶつ基金」がますます発展されることを心より祈念しております。

voice

一枚一枚の写真に感動

特別審査員
八二一



2010年から写真コンテストの審査員を務めさせていただいてますが、回を追うごとに応募作品数も増え、ますますクオリティが高くなっていると感じています。どの作品も美しくかわいらしく、ドラマチックな瞬間を捉えていて、一枚一枚の写真を見やるたびに、和んだり、感動しながら何度も見直して審査しています。縁があって家に飼われることになった動物たちには、それぞれが少なからずいろいろなきざつや事情があると思いますが、孤独だった動物たちが家族を得て、今は瞳を輝かせて生き生きと暮らしている写真を見て、本当によかったと思います。そんなエピソードをコンテストを通じて多くの方に知っていただけることは、とても有意義なことだと思います。そして、一匹でも多くの動物たちが家族の一員になれることを願っています。

賞品提供 **GREEN DOG**
<http://www.green-dog.com/>

はっちゃん日記
<http://hatchannikki.blog107.fc2.com/>

396頭 × 5,000円

行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度

**犬や猫を殺処分前に救って
新しい家族を見つける活動を支援しました。**

どうぶつ基金では、全国各地の保健所等で行われている犬や猫の団体等譲渡制度を推進するために、団体譲渡制度に登録し、行政から保護動物を引き取り、新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、**1頭あたり、5,000円**の助成を行いました。

? 団体譲渡制度って？

行政が運営する保健所等が、新たな飼い主を探す活動を行っている団体又は個人へ、保護された犬及び猫の譲渡を行う制度です。譲渡を受けるには、各保健所への登録が必要です。行政とボランティア団体が協力することで、より多くの保護された犬猫に家族を得るチャンスを与えることができます！

平成26年度助成実績

平成26年度は、**10** 団体によって **396** 頭が再譲渡され、合計 **1,980,000** 円の助成を行いました。

$$\begin{array}{c} \text{頭数} \\ \text{396} \\ \text{頭} \end{array} \times 5,000 \text{円} = \begin{array}{c} \text{助成金額合計} \\ \text{1,980,000} \\ \text{円} \end{array}$$

voice



NPO法人 犬と猫のためのライフポート
理事長 稲葉 友治

活動の大きな助けになっています

当団体は保健所から保護した犬猫を施設で一時保護し、ワクチン接種・不妊手術を含めた健康管理なども済ませてから新しい飼い主さんを探すことで救命を行う団体です。譲渡時には新しい飼い主さんに飼育実費の一部を負担していただいておりますが、すべてをまかなえるわけではありません。どうぶつ基金の「譲渡事業推進のための助成制度」では足りない飼育費を補うことができ、活動の大きな助けになっています。また、私たちのような活動団体へのご支援はもちろん、どうぶつ基金自体も具体的な活動実績を挙げていると感じています。動物保護には直接的な救命活動から、啓蒙活動などの比較的長期的な効果を狙うものまでさまざまですが、どうぶつ基金は「TNR先行型地域猫活動」を効果的に実施されていて、そもそも不幸な命が増えないようにする、根本的な問題解決をする活動をされています。どうぶつ基金の活動と、それを支える関係者・支援者の皆様がこの場をお借りしてお礼申し上げます。



「不幸な犬猫を減らしたい」

あなたの思い、私たちが動物たちに届けます。

殺処分ゼロを実現するため、あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。

2,000円

一匹のオスねこが...

4,000円

一匹のメスねこが...

「さくらねこ不妊手術」を受けることができます。



寄付はこちら

銀行振り込み(送金も受け付けています)

銀行

三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)
普通 4172198 公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキサイダンハウジンドウブツキキン)

郵便局

00230-8-72832
公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキサイダンハウジンドウブツキキン)

かんたん振り込み

どうぶつ基金QRコード



かざして基金QRコード



かざして募金

QRコードリーダーで読み込んでください

WEB

寄付のお願い特設ページ

どうぶつ基金 寄付

検索

ボランティアからの感謝の声



手術をしたさくらねこたちは、性格が穏やかになり地域住民の皆様が可愛がって下さるようになりました。その結果、痩せて衛生状態の悪いのら猫たちが減り地域の環境も良くなりました!
京都府 Yさん



皆様のご支援のお蔭で、諦める事なく頑張る事が出来ます。資金が無い身ですが、体力と時間と精神が続く限り、小さなけれど決して粗末に出来ない命を大切にす為、頑張ります!本当に有難うございます!
千葉県 Yさん



皆様のご厚意により、望まれないで生まれてくる猫たちの出産を抑制でき、地域での動物愛護の普及に向けた大きな一歩となりました。心より御礼申し上げます。飼い主不明猫問題をきっかけとした地域住民同士の対立が各地で起きておりますが、今後も皆様のお力添えをいただきながら、地域で人と動物が平和的に共生・共存できる環境づくりに向けて努力したいと考えております。ありがとうございました。
東京都 Aさん

D 公益財団法人 どうぶつ基金



どうぶつ基金は、1988年に設立されて以来、人とどうぶつが幸せに共生できる社会づくりに貢献してきました。どうぶつ基金では、約13万頭(平成25年度)の犬や猫の行政による殺処分を早期にゼロにするために様々な取り組みを行っています。犬や猫の殺処分数は年々減少しており、殺処分ゼロは決して夢物語ではありません。今までの「蛇口は開きっぱなし、桶から漏れた水はどんどん下水に流す」というシステムを変え「蛇口を絞って、受ける桶を大きくする」ということを地道に実践し訴えることが殺処分ゼロへの王道だと考えています。このビジョンに従いどうぶつ基金の事業は成り立っています。蛇口を締める取り組みが「さくらねこ無料不妊手術事業」です。さくらねこTNRを推進することで、殺処分されてしまう猫を減らすことができます。受け皿を大きくする取り組みが「行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度」と「いのちつないだワンニャン写真コンテスト」です。助成金制度によって、殺処分対象の犬や猫を引き取り、新しい飼い主を探す取り組みをしている皆様に支援します。写真コンテストによって、ペットを買わずに飼うことの素晴らしさを広め、飼い主のいない犬や猫の受け入れ先を増やします。

どうぶつ基金は「動物と人が幸せに共生できる日本」「殺処分ゼロの国日本」の実現のため、やみくもに活動するのではなく、社会システムを見極めたうえで、明確なビジョンの元に地道な取り組みをこれからも続けていきます。

history

- 昭和63年(1988年) ・富岡操(初代会長)が全財産を提供し横浜市に財団法人横浜動物福祉協会として設立。
- 平成2年(1990年) ・神奈川県愛甲郡清川村に動物保護シェルター建設
- 平成10年(1998年) ・名称を財団法人富岡操動物愛護基金に変更
- 平成17年(2005年) ・地域猫無料不妊手術を開始
- 平成18年(2006年) ・地域猫無料不妊手術1,000頭達成
・座間市で行政による猫引取り殺処分ゼロを達成
・名称を財団法人どうぶつ基金に変更
- 平成19年(2007年) ・神奈川県猫100頭無料不妊手術キャンペーンを実施
・清川村で集中不妊手術、保健所による猫引取り殺処分数ゼロ達成
・厚木市で200頭の集中無料不妊手術の結果殺処分38%減少
- 平成20年(2008年) ・猫無料不妊手術3,000頭達成(平成18,19,20年度合計)
- 平成21年(2009年) ・猫TNR耳先カット助成金制度を開始
・ネコミュ2009横浜に参加
・世界初「みみ先カット猫写真展」を横浜で開催
- 平成22年(2010年) ・内閣総理大臣より公益財団法人承認
・環境省主催 生物多様性エキスポ福岡にて「愛され猫のしるし・みみ先カット猫写真展」
・衆議院会館「犬猫等の殺処分を禁止する議員連盟第3回勉強会」で佐上理事長が講演「殺処分ゼロへの提言」
・いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞開始
・佐上理事長と山口武雄顧問、森田恭通氏(デザイナー、審査委員長)マエキタミヤコ氏ら小沢鋭仁環境大臣を表敬訪問
・前会長で現顧問の山口武雄先生が動物愛護功労者として環境大臣表彰を受賞
- 平成23年(2011年) ・「どうぶつからの感謝状」コンテスト環境大臣賞発表
・ねこ不妊手術無料キャンペーン(計102頭)
- 平成24年(2012年) ・さくらねこ無料不妊手術(計2,750頭)
・石垣市との協働 みみ先カット猫ねこ無料不妊手術(計171頭)
- 平成25年(2013年) ・みみ先カット猫ねこ無料不妊手術(計2,062頭)
・世界遺産姫路域で出張手術実施
- 平成26年(2014年) ・さくらねこ無料不妊手術(計8,262頭)累計16,609頭
・徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクトスタート
・行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度開始



正味財産増減計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	31,479,447	6,138,913	25,340,534
基本財産運用益	23,165,370	1,766,457	21,398,913
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	23,165,370	1,766,457	21,398,913
受取寄付金	8,312,031	4,371,454	3,940,577
雑収益	2,046	1,002	1,044
(2) 経常費用	42,560,002	8,856,586	33,703,416
事業費	42,233,002	8,396,212	33,836,790
給与手当	389,610	0	389,610
旅費交通費	2,197,221	0	2,197,221
通信費	5,746	0	5,746
支払助成金	30,860,534	6,598,297	24,262,237
荷造運賃	317,697	0	317,697
広告宣伝費	4,459,891	1,159,743	3,300,148
消耗品費	3,296,294	434,381	2,861,913
賃借料	0	0	0
支払手数料	408,513	203,791	204,722
雑費	297,496	0	297,496
管理費	327,000	460,374	△ 133,374
支払報酬料	327,000	460,374	△ 133,374
租税公課	0	0	0
雑費	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,080,555	△ 2,717,673	△ 8,362,882
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	24,386,026	0	24,386,026
基本財産評価益	24,386,026	0	24,386,026
(2) 経常外費用	0	4,365,334	△ 4,365,334
基本財産評価損	0	4,365,334	△ 4,365,334
当期経常外増減額	24,386,026	△ 4,365,334	28,751,360
当期一般正味財産増減額	13,305,471	△ 7,083,007	20,388,478
一般正味財産期首残高	161,628,696	168,711,703	△ 7,083,007
一般正味財産期末残高	174,934,167	161,628,696	13,305,471
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	174,934,167	161,628,696	13,305,471

正味財産増減計算書内訳表 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	公益目的事業会計		収益事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	小計	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益	29,070,249	29,070,249	0	0	2,409,198	0	31,479,447
基本財産運用益	20,756,172	20,756,172	0	0	2,409,198	0	23,165,370
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取配当金	20,756,172	20,756,172	0	0	2,409,198	0	23,165,370
受取寄付金	8,312,031	8,312,031	0	0	0	0	8,312,031
雑収益	2,046	2,046	0	0	0	0	2,046
(2) 経常費用	42,233,002	42,233,002	0	0	327,000	0	42,560,002
事業費	42,233,002	42,233,002	0	0	0	0	42,233,002
給与手当	389,610	389,610	0	0	0	0	389,610
旅費交通費	2,197,221	2,197,221	0	0	0	0	2,197,221
通信費	5,746	5,746	0	0	0	0	5,746
支払助成金	30,860,534	30,860,534	0	0	0	0	30,860,534
荷造運賃	317,697	317,697	0	0	0	0	317,697
広告宣伝費	4,459,891	4,459,891	0	0	0	0	4,459,891
消耗品費	3,296,294	3,296,294	0	0	0	0	3,296,294
賃借料	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	408,513	408,513	0	0	0	0	408,513
雑費	297,496	297,496	0	0	0	0	297,496
管理費	0	0	0	0	327,000	0	327,000
支払報酬料	0	0	0	0	327,000	0	327,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,162,753	△ 13,162,753	0	0	2,082,198	0	△ 11,080,555
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	21,849,879	21,849,879	0	0	2,536,147	0	24,386,026
基本財産評価益	21,849,879	21,849,879	0	0	2,536,147	0	24,386,026
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	21,849,879	21,849,879	0	0	2,536,147	0	24,386,026
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,687,126	8,687,126	0	0	4,618,345	0	13,305,471
一般正味財産期首残高	145,397,733	145,397,733	0	0	16,230,963	0	161,628,696
一般正味財産期末残高	154,084,859	154,084,859	0	0	20,849,308	0	174,934,167
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	154,084,859	154,084,859	0	0	20,849,308	0	174,934,167

貸借対照表 平成27年3月31日現在
公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,704,316	4,815,706	△ 2,111,390
未収入金	155,155	0	155,155
立替金	0	0	0
流動資産合計	2,859,471	4,815,706	△ 1,956,235
2 固定資産			
基本財産	180,918,692	146,532,666	34,386,026
投資有価証券	180,918,692	146,532,666	34,386,026
その他固定資産	0	10,500,000	△ 10,500,000
TNR事業推進資金	0	500,000	△ 500,000
基本財産取得資金	0	10,000,000	△ 10,000,000
固定資産合計	180,918,692	157,032,666	23,886,026
資産合計(A)	183,778,163	161,848,372	21,929,791
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	8,842,556	145,903	8,696,653
預り金	1,440	73,773	△ 72,333
流動負債合計	8,843,996	219,676	8,624,320
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計(B)	8,843,996	219,676	8,624,320
III 正味財産の部			
正味財産 (C)=(A)-(B)	174,934,167	161,628,696	13,305,471
負債及び正味財産合計(B)+(C)	183,778,163	161,848,372	21,929,791

貸借対照表内訳表 平成27年3月31日現在
公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	2,704,316	0	0		2,704,316
未収入金	155,155	0	0		155,155
立替金	0	0	0		0
仮払金	0	0	0		0
流動資産合計	2,859,471	0	0	0	2,859,471
2 固定資産					
基本財産	162,103,148	0	18,815,544		180,918,692
投資有価証券	162,103,148	0	18,815,544		180,918,692
その他固定資産	0	0	0	0	0
TNR事業推進資金	0	0	0		0
基本財産取得資金	0	0	0		0
固定資産合計	162,103,148	0	18,815,544	0	180,918,692
資産合計(A)	164,962,619	0	18,815,544	0	183,778,163
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	8,737,373	0	105,183		8,842,556
預り金	0	0	1,440		1,440
仮受金	0	0	0		0
流動負債合計	8,737,373	0	106,623	0	8,843,996
2 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計(B)	8,737,373	0	106,623	0	8,843,996
III 正味財産の部					
正味財産 (C)=(A)-(B)	156,225,246	0	18,708,921	0	174,934,167
負債及び正味財産合計(B)+(C)	164,962,619	0	18,815,544	0	183,778,163

約70%が不妊手術等の獣医療に使われました。

